

『雲の形』

あの雲の形を土に写そうか
それが僕たちの歩く道になればいいけど

湿った土をじっと見つめて
さっき話したことを
もいちど繰り返す

僕らの言葉が尽きたなら
そこから本当のことを語り始めよう

雲をたどって歩いていきたい
行く先は見失ったまま

溶けて消えるまで見つめて
まぶしい無音の中から探し出そう